

私が参加した防災のとりくみ

普段からの防災へのとりくみは大切です。備蓄や訓練はどのように行っておられますか。体験をするかしないかは違い。練習を積み重ねることも必要です。

津島学区栄養教室でのパッククッキング (9.21)

電気ガス水道が止まったとき、「食」の家庭備蓄が必要です。パッククッキングは、耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんをする調理方法です。



備蓄の必需品は、水、カセットコンロとカセットボンベ。食材は日常食を買い置き、ローリングストック(古いものから食べて、買い足す)をします。教室では、ツナのチキンライス風、パンプディング(写真)などを作りました。

福居ふれあい防災まつり (10.9)

主催は、津島福居町内会・津島福居自主防災会です。地震体験(起震車)、水消火器訓練、消防服を来て消防体験、心肺蘇生・AED体験、簡単蒸しパン作り、「みんな



で、ぼうさいPiPit!ダンス(岡山大学ダンス部)など。子どもの参加が多くて嬉しかったです。西消防署の協力をいただき、女性消防士の方もおられました。子どもたちの将来の選択肢になるといいですね。

「岡山市公式LINE」の使い方/道路・公園損傷等通報

8月1日から、道路や公園で壊れている箇所などを発見したら、LINEで報告できるようになりました。写真や位置情報もいっしょに



岡山市公式LINE

送れます。緊急の場合は電話になります(問合先/道路:道路港湾管理課086-803-1416、公園:庭園都市推進課086-803-1392)。詳しくは↓

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000051971.html>

編集後記 ★友人からアケビをいただきました。子どもの頃に時々食べていたので、懐かしく美味しくいただきました。若者にシェアをすると微妙な表情でした(^)/。



のぞみ日誌から

大盛況の「おかやまSDGsフェア」に (8.3)

岡山コンベンションセンター全体を使って、8.2~3に、岡山SDGsの大発信。企業・自治体・NPO・市民団体・高校や大学などの150近いブースだけでも圧巻です。私がしてみたかった、フェアトレード服でのファッションショー(ジャムタン×セネガル)をしておられました。



岡山市議会女性議員と市職員との会 (8.23)

この春の選挙で、女性議員がガラリと変わり、1人増えて7人中5人が新人の方です。女性市職員サイドは局長と部長(専任)で12人いらっしゃるそうです。先輩方から受け継ぐステキな時間で、元気をいただきました。



京山で地球めぐり~イエメン料理編~ (9.22)

イエメンって、どこにある国?どんな料理?メインは、オクラとひき肉の煮込み料理。ライスは、細く小さなパスタをオリーブ油で炒めて、細長いお米と炊きます。主催はフレンドリー京山。三宅泰司教育長が来ておられ、「教育長がきょうもいく」YouTubeになる予定です。



御津・河原邸お月見会 (9.30)

河原邸での、お琴の演奏と子どもたちによるお茶会も復活しました。楽しみつつ、ゆっくりお話をしましたが、残念ながら、お月さまの姿を見ることはできませんでした。来年を楽しみにしています。



はあとりんく・療育まつり 2023 (10.1)

はあとりんく(岡山県LD等発達障害親の会)主催です@北長瀬ハッシュタグ岡山。楽しさ(体験)、美味しさ(食)、役立つアレコレ。とてもにぎわっていました。子どもたちを支えるグッズの展示・体験コーナーでは、学びと交流になりました。



岡山市議会議員

会派:みらいえ

No.66

2023年9月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2023年10月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



「助けて」と言える「希望のまち」づくり いつか笑える日がくる~ひとりにしないという支援~

“NPO 法人岡山きずな” 20周年に感謝

「いつか笑える日がくる。~ひとりにしないという支援~」。“きずな”活動20周年記念講演会のテーマです。講師は、奥田知志さん(認定NPO法人「抱樸」理事長)で、ホームレス支援の全国的な活動を牽引してこられた方です。会場は満席状態であり、多くの若い皆さんのご参加に希望を感じました。

“きずな”は2002年の炊出し活動に始まり、多くの路上生活者の方への支援を続けてこられました。近年は、生活困窮者支援へと広がり、地域の居場所づくりの活動も行っています。岡山市からも事業委託を受け、私は岡山市のセーフティネットの要だと思っています。生活困窮者状態の皆さんは多様な課題を抱えておられ、“きずな”は、長年の経験をもとに一人ひとりに真摯に向き合っておられます。

講師の奥田さんは、最後に、地元・北九州市で手掛けられている「希望のまち」

について語られました。希望のまちの目的は、①助けてと言えるまち、②まちを大きな家族に~家族機能の社会化、③まちが子どもを育てる~相続の社会化。スッキリとわかりやすい言葉にしてくださりありがたいです。

コロナのなかで生まれた支援事業の継続を

この9月議会から、会期中に昨年度の決算審査を行う決算特別委員会をもつようになり、私は会派“みらいえ”から、決算への代表質疑をしました。

コロナのもとで、県社協が窓口となった貸付事業や「寄り添いサポート」への相談状況から、生活が厳しい方が多いことを明らかにしました。そして、「学習支援」や「ひとり親家庭支援」など、コロナのなかで誕生・拡充した暮らしに直結する支援事業の成果を確認し、今後も継続の必要性を要望しました(中面)。

“希望のまち”をともに作りましょう。



“NPO 法人岡山きずな”活動20周年記念講演会 (2023.9.30, 岡山市勤労者福祉センター)

おにき・のぞみ

9月議会 決算特別委員会・代表質疑から

—今回とりあげた項目—

*令和4年度岡山市一般会計歳入歳出決算について

1. 岡山市の財政状況
2. 新型コロナ対策事業のこれから
3. 地球温暖化防止対策（脱炭素社会の推進）
4. 岡山北斎場
5. 区づくり推進



この9月議会から、決算特別委員会が後半に組み込まれ、長丁場となりました。大きな議論となったのは、路面電車のJR岡山駅東口広場への乗入れ事業費が66億円から88.5億円（税抜）に大幅増額となり、工期も1年半延びたことです。多くの議員が質問をしました。地下街テナントの休業補償費用が約1.8倍に増えるなどしたため、岡山市の見通しの甘さであり、あってはならないことです。公共交通の充実はこれからますます必要です。専門家との連携も含め、職員の体制を厚くすべきです。

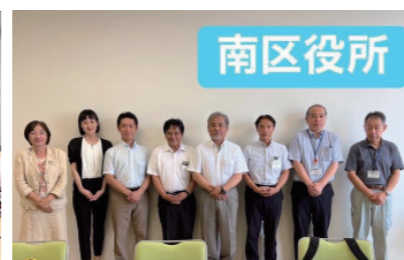
委員会・分科会での発言通告制と時間制限はやめるべきです

この議会で初めて、会期中に決算特別委員会が設けられ、代表質疑と分科会審査、意見表明を行いました。分科会では、議案審査を行う委員会と同様に、これまでなかった発言通告制と、議員の発言時間が1日20分間とされました。

これまで2日間にわたって審査をしていた委員会が時間の規制も相まって、今回は1日で終わったところもあります。そうすると、発言時間が1日分の20分間しかないわけです。これでは十分な審議ができないと思います。

また、報告や審議を聞きながら、質問や確認が必要だと思っても、発言通告をしていなければ、発言ができません。

委員長の采配のなかで、近年、17時を回ることはほとんどありませんでした。安心できる市民生活に向けて、議会には十分な審議が必要です。発言通告制と発言時間制限をやめるべきです。



会派「みらいえ」では、多彩なメンバーで活動を展開しています

私が属する会派「みらいえ」は、新人議員4人と私（代表）の5人で正会派として議会活動をしています。みんなで勉強や情報収集をして共有し、討議を重ねて、市政に臨んでいます。政治的な考え、年代、性もそれぞれですが、市民に開かれ、活発な議論が保障される議会をめざすことで一致しています。多彩なメンバーだからこそその発信をしていきたいです。

「みらいえ」で区役所めぐり

8.7に東区役所、8.8に中区役所・南区役所に（北区役所は6月議会前に）。区ごとに話される内容が異なり、面白かったです。区の特徴が益々出てほしいです。3つの区とも、区まちづくり独自企画事業での高校生・大学生とのコラボが印象に残り、代表質疑の項目に取り上げました。学生が参加をし、力を生かす地域づくりを、これからも進めてほしいです。

2 新型コロナ対策事業のこれから

コロナのなかで生まれた、苦しい市民生活を支える事業の継続を

Q コロナや物価高騰は多くの市民・世帯に打撃を与えました。県社協が窓口の貸付事業の様子はいかがですか。

保健福祉局長 岡山県社協によると、岡山市分の緊急小口資金と総合支援資金特例貸付の合計は、3万477件、総額120億2,600万円余で、2023年1月より返済が開始されている。8月末時点（総合支援資金は初回貸付分）で、返済：5,426件、2億1,700万円余。未返済：7,740件、41億6,500万円余。免除：7,530件、25億8,500万円余。「寄り添いサポートセンター」（0800-200-8730）では、体制強化をし、休日相談にも予約制で応じ、きめ細かな相談に応じている。

「寄り添いサポートセンター」の相談件数も多く、市民生活はまだ苦しい。

Q コロナ等に直面するなかで、市民が抱えていた課題が鮮明になり、新規・拡充事業となったものが幾つもあります。実績と評価をお示ください。

保健福祉局長 「学習サポート事業」は、コロナ感染拡大を踏まえて実施をしている訪問・リモート型の事業で93人を支援している。コロナの影響が一段落した状況でも、この事業で、通所型の会場まで通えないとか、集団が苦手と言われる子どもや家庭への支援が可能と考えている。

岡山っ子育て局長 「ひとり親家庭等相談支援事業」では、2022年8月に、休日夜間の電話とLINE相談を開始し、ピ

岡山市の光熱水費決算額

| | 2021年度 | 2022年度 | 増額 | 増加率 |
|--------|-------------|-------------|------------|-----|
| 公民館 | 7,200万円余 | 1億2,100万円余 | 4,800万円余 | 67% |
| 小学校 | 5億9,000万円余 | 7億5,800万円余 | 1億6,000万円余 | 28% |
| ⋮ | | | | |
| 一般会計全体 | 25億2,000万円余 | 32億5,000万円余 | 7億3,000万円余 | 29% |

アサポートを行う相談窓口を開設した。2022年度末までの利用者は延べ394人。次第に定着し、ひとり親家庭の孤立を防止し、支援につなげる効果をあげている。

「子どもの居場所づくり」など他の事業についてもお聞きしました。コロナが落ち着いても、堅調な財政運営のもと、引き続きの事業継続を強く求めました。

3 地球温暖化防止対策

LED化。2025年度改訂の地球温暖化対策実行計画に盛り込みたい

Q 2022年度は電気代高騰にも打撃を受けました。公民館と小学校の光熱水費の2021年度と2022年度の決算額と増額分は表の通りですが、一般会計全体の状況をお示ください。

財政局長 2021年度が25億2,000万円余、2022年度が32億5,000万円余で、約7億3,000万円の増額です。

Q 事前調査でショックだったのは、市有施設の照明LED化があまり進んでいないことでした。蛍光シーリングライトとLEDでは消費電力が50%減、電球では86%減です。LED化でかなりの経費削減＝地球温暖化防止になったのではないかと。岡山県は、2030年までに県有施設全体でLED化を実施するとしています。岡山市も計画的に進めるべきではないですか。

環境局長 2025年度改訂予定の地球温暖化対策実行計画に、LED化をしっかりと盛り込んでいきたい。

国のメニューに、省エネルギー改修やLED照明導入など脱炭素化事業があります。前倒しで行ってほしい。学校の断熱改修も前向きに検討してほしいです。



・2022年度作成の「岡山市地球温暖化対策ポータルサイト」。わかりやすいです。ご覧ください。

4 岡山北斎場

岡山市北区富吉にある岡山北斎場は、最も近隣の地区住民の同意がないなかで、2021年12月にスタートしました。

Q 岡山北斎場の受入れ想定は、人体で3,200件。2019年度の東山斎場火葬実績の約半数（東山斎場と同件数）でした。ところが、2022年度の火葬件数は、東山斎場5,765件、岡山北斎場は1,972件。岡山北斎場の件数は低い。「本当に必要だったのか」という声にどう答えますか。

市民生活局次長 火葬件数は徐々に伸びている。指定管理者等とも協議をし、施設見学会の開催や火葬受付時間の変更など火葬サービスに努め、認知度は高まってきたと考えている。ご遺族の心情に寄り添った火葬サービス提供に努めたい。

排気口からのダイオキシン測定も含め、今後も環境調査を岡山市が行うべき。

9月議会／政府に「核兵器禁止条約」を批准できる環境整備を求める意見書を採択

広島と長崎の両市議会議長からの要請に応じたものです。直接、批准を求める内容ではありませんが、今年11月に開催予定の第2回締約国会議にオブザーバー参加をすること、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めることなどを要請するものです。条約の批准を求める陳情が2回不採択でしたので、一步前進です。